

都道府県が実施した主な重症心身障害児（者）実態調査の状況

都道府県名	調査目的	調査対象・方法	質問項目	調査実施期間
岩手県	今後の入所や在宅での支援を検討するための基礎資料とする	① 県内の病院、障害者支援施設、特別支援学校等への実態調査 ② ア）療育手帳（Ａ）と身体障害者手帳（肢体不自由 1、2 級）の両方を所持（639 名）、イ）アと同様の障害のある者へのアンケート調査	本人の状況、介護者の状況、施設入所の希望、現在利用しているサービス、今後利用を希望するサービス、生活する上で困っていること等	平成 27 年 6～7 月
長野県	事業効果の検証、今後の支援施策の在り方の検討のため	① 障害福祉サービス事業所、特別支援学校への利用者状況調査 ② 在宅の障害児（者）であって、ア）療育手帳（Ａ）と身体障害者手帳（肢体不自由 1、2 級）の両方を所持、イ）アと同程度と市町村が判断した者のいずれかに該当する者に対し、市町村からアンケート調査票を郵送（444 名）。	本人の状況（主病名、障害支援区分等）、介護者の状況、医療的ケアの内容、現在利用しているサービス、今後利用を希望するサービス、生活する上で困っていること等	平成 26 年 8 月
岐阜県	今後の支援策等の充実に向けた基礎資料とするため	① 身体障害者手帳 1、2 級（肢体不自由の体幹・下肢・移動機能）を所持する 18 歳未満の者 ② 身体障害者手帳 1、2 級（肢体不自由の体幹・下肢・移動機能）かつ療育手帳（Ａ、Ａ 1、Ａ 2）の両方を所持する 18 歳以上の者 への統計法に基づく届出統計調査（1, 453 名） ※プライバシー管理の観点から、調査票には住所氏名を記載しない仕様で実施。	氏名・住所の訂正の有無、回答者の電話番号、本人の状況（主病名、障害支援区分等）、医療的ケアの内容、介護者の状況、現在利用している医療・福祉サービス、今後利用を希望する医療・福祉サービス、施設入所の希望等	平成 26 年 8 月～ 27 年 9 月
愛知県	今後の障害福祉施策の基礎資料とするため	① 児童相談所が重症心身障害児と判定した児童（身体障害者手帳 1、2 級（独歩の可否等で判断）、かつ I Q 35 以下。） ② 児童相談所からの移管通知により市町村が把握している者 ③ 市町村が福祉的必要性を考慮して重症心身障害者と判断した者 へのアンケート調査（1, 929 名） ※県または市町村から調査票を郵送。	本人の状況（障害支援区分、移動の状況・手段、意思表示、食事の摂取方法等）、介護者の状況、現在利用しているサービス、今後利用を希望するサービス、施設入所の希望等	平成 26 年 8～10 月
福岡県	支援策の検討のための基礎資料とする	在宅の重症心身障害児（者）1, 757 名のうち、市町村からデータの提供の得られた 1, 676 名に対し、県から調査票を送付。	本人の状況（移動の状況、食事、排泄、意思表示等）、医療的ケアの状況、介護者の状況、在宅福祉サービスの利用状況、困りごと、心配事の相談等	平成 25 年 2～3 月
長崎県	今後の障害者福祉施策の検討の参考とするため	身体障害者手帳 1、2 級かつ療育手帳（Ａ 1、Ａ 2）の両方を所持し、在宅で生活している者（586 名）に対し、県から調査票を郵送。	本人の状況（移動の状況、食事、排泄、意思表示等）、医療的ケアの内容、介護者の状況、在宅福祉サービスの利用状況、困りごと、心配事の相談等	平成 26 年 2 月

※本表は、千葉県障害福祉事業課が各都道府県の H P 情報等を元に収集し、作成したものである。